



東北大学

平成 24 年 6 月 15 日

報道機関各位

東北大学マイクロシステム融合研究開発センター

東北大学と IMEC（ベルギー王国）が戦略的連携協定を締結

東北大学とベルギー王国の IMEC（Interuniversitair Micro-Electronica Centrum）は、この度、戦略的連携協定を締結し、2012 年 6 月 11 日、ベルギー王国駐日大使主催のレセプション（於 ホテルオークラ、東京）に先立ち、同国のフィリップ皇太子殿下の御臨席のもと調印式を執り行いました。東北大学、IMEC を代表して、それぞれ数井 寛 理事、Luc Van den hove 社長が本協定に署名しました。

IMEC はルーベントリック大学に端を発する 1984 年設立の NPO であり、マイクロ・ナノエレクトロニクス分野における世界最大級の研究開発拠点として知られています。世界の主要半導体関連企業が、IMEC において次世代、次々世代の半導体関連技術の研究開発を行っています。日本からも多くの企業が参加しており、その投資総額は 50 億円／年にのぼると言われています。また、IMEC の研究開発システムは、各国で強力な研究開発拠点を構築するためのモデルとなっており、これは日本でも例外ではありません。

東北大学は 5 年程前から IMEC と協力関係にあり、共同研究や人材交流をはじめとする活動を行ってきました。平成 19 年度には小池 淳一 教授（工学研究科）が次世代集積回路用ナノ配線材料の開発に関する共同研究に着手し、平成 22 年度には田中 秀治 准教授（工学研究科）、平成 23 年度には室山 真徳 助教（原子分子材料科学高等研究機構）がそれぞれ東北大学から IMEC に派遣され、MEMS に関する共同研究を開始しました。本年 5 月に東北大学西澤潤一記念研究センターに設置した「MEMS 展示室」には、IMEC の研究成果が展示されています。また、本年 6 月には、本協定の世話人である江刺 正喜 教授（マイクロシステム融合研究開発センター長）と大野 英男 教授（省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長）をはじめとする 9 名の教員が IMEC を訪問し、共同セミナーを開催します。この共同セミナーは、今後、ベルギー王国と日本と交互に場所を変えて開催される予定です。

以上のような実績に基づき、より協力関係を強化するために、IMEC は半導体、マイクロ・ナノデバイス、および関連分野で歴史的にも豊富な実績を有する東北大学を戦略的連携大学に選び、今回の協定締結に至りました。なお、米国ではスタンフォード大学が、欧州ではスイス連邦工科大学が IMEC の戦略的連携大学となっていますが、アジアでは東北大学が初めてになります。この戦略的連携協定に基づき、東北大学と IMEC は連携を積極的に進め、半導体、マイクロ・ナノデバイス、および関連分野における研究開発、人材育成、産業創出などで益々の貢献をしていきます。

調印式の模様（於 ホテルオークラ，東京）



※ Luc Van den hove IMEC 社長（左から 1 番目）、フィリップ皇太子（中央）、数井 寛 東北大学理事（右から 4 番目）

【本件に関する問合せ先】

東北大学 大学院工学研究科 ナノメカニクス専攻 准教授

田中 秀治（たなか しゅうじ）

Tel: 022-795-6934, Fax: 022-795-6935, E-mail: tanaka@mems.mech.tohoku.ac.jp

東北大学 産学連携推進本部 国際連携部

松野 晃久（まつの あきひさ）

Tel: 022-217-6035, Fax: 022-217-6047, E-mail: matsuno@rpip.tohoku.ac.jp